

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	52105	畜産関係事務費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをまぎして	根拠計画	市長公約	3	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・安定した畜産業を実現するため、飛騨牛を代表とする各種畜産物の全国ブランド化や、アジアを主体とした海外販路の確立を、具体的に進めます。
	課			5	農林水産業費		分野	4	畜産業	実施計画事業			
担当課	農政部 畜産課		予算	内線	2	畜産業費	基本施策	1	安定した畜産経営を整備する	H25実施計画額	千円		
				2239	目	1	畜産総務費	施策	1	競争力のある生産基盤の整備			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	農業者(肉用牛・乳用牛・養豚・養鶏)	どうしたいのか(意図)	高山市の畜産振興の向上	概要	事業の実手法(手段)	飛騨畜産振興会の活動支援、畜産物PRのための旅費、畜産委員への報償等
	対象者数	266 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	畜産関係各種団体委員活動謝礼 飛騨畜産振興会負担金(飛騨地域の畜産振興のために、飛騨3市1村及び農協などで構成) 岐阜県農業フェスティバル畜産ひろば出席、岐阜県畜産協会総会出席 ほか						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	畜産関係各種団体委員活動謝礼	件	目標値	33	33	33	33
成果指標	算出根拠等		実績値	33	33		
	肉用牛飼育頭数	頭	目標値	3,600	3,700	3,800	3,900
成果面	算出根拠等		実績値	3,509	3,441		
	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
補足	算出根拠等		目標値				
	算出根拠等		実績値				
	算出根拠等		達成率(%)	97	93		
	算出根拠等		目標値				
	算出根拠等		実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
	算出根拠等		実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
	算出根拠等		実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	畜産を取り巻く情勢的確な把握及び農業者への情報提供・指導
-----------------	------------------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	県・他市村・JA等関係団体と連携を密に畜産情勢を的確に把握したうえで農業者への情報提供・指導を行う。 今年度は全国和牛能力共進会の年であり、飛騨牛応援実行委員会を組織し、協賛金を広く市民や商工・観光業界から募り、全候補者への支援や飛騨牛のPR活動を行っている。(実行委員会にかかる市の予算はなし。別途、家畜改良事業費にて1,000千円の負担金を支出)
担当課評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 畜産情勢を注視しながら事業を継続して実施する。
二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 (担当課評価に同じ)

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	937	918	960	1,382
受益者	受益者1件当たり(円)	(A/B)	3,395	3,451	3,556	5,573
	畜産農家	(B)	276	266	270	248

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	畜産振興を図るための一般的な事務経費 ・飛騨畜産振興会活動支援負担 ・畜産団体等への報酬や地区座談会開催等による意見聴取	要求のポイント	事業実施の課題	関係機関と協力連携を密にし、様々な情報入手を図り、畜産情勢を考慮しながら事業を実施していく必要がある
------	--	---------	---------	--

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	960	1,382	422	1,253	1,253	・積算内容を精査 ・動物愛護フェスティバルの開催に要する経費を計上 ・財務部査定のとおり	
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金	30	30		30	30		
その他	36	37		36	36		
一般財源	894	1,315	421	1,187	1,187		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	52207	飛騨牛ブランド振興事業補助金		予 算	会計	1	一般会計	総 合 計 画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	産業振興計画	市 長 公 約	安定した畜産業を実現するため、飛騨牛を代表とする各種畜産物のブランド化や、アジアを主体とした海外販路の確立を具体的に進めます。	
種別			款		5	農林水産業費	分野		4	畜産業	実施計画事業					
担当課		畜産課	内線		2240	項	2		畜産業費	基本施策		1	安定した畜産経営環境を整備する			H25実施計画額
						目	2		畜産振興費	施策	1	競争力のある生産基盤の整備				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	畜産農家	どうしたいのか(意図)	現産業振興計画の目標である「飛騨高山ブランドの強化による産業の振興」のため、飛騨牛の全共の成果を厚として、高山の畜産物の高価値を内外で浸透させ販売力を拡大し、飛騨高山食ブランドの強化につなげる。地域産飼料の利用を促進することにより、地域産ブランドの維持、耕畜連携による自給飼料率の向上	概要	事業の実施手法(手段)	首都圏でのPRイベント、レストランへの販路拡大、特典券による消費拡大・誘致PR。全共成果PRポスターの製作。行事PR用牛肉贈呈。稲わら、飼料用米、WCSの購入価格の1/2を補助
	対象者数	248人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	地域産稲わらの確保支援(99.2ha)、ポスター・ラッピングバス・フリーペーパー等の多岐にわたる安全PR、飛騨牛割引特典券の配布(実績 利用率4.5%) <飛騨牛震災対策事業費>								
成果 指 標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25	
	成果指標	地域産稲わら等の利用促進補助による収穫量	ha	目標値		100		100	157
				実績値		99			
				算出根拠等		達成率(%)	99		
	活動指標	飛騨牛PRポスター・ステッカー作成	枚	目標値		806			1,000
				実績値		814			
				算出根拠等		作成枚数	達成率(%)	101	
	成果指標	飛騨牛割引特典券の配布・活用実績	枚	目標値		1,000		860	700
				実績値		451			
				算出根拠等		達成率(%)	45		
	成果指標	首都圏飛騨牛等PRIによる取材件数及び地域畜産物の取扱拡大数	件	目標値				5	3
				実績値					
				算出根拠等		達成率(%)			
	活動指標	市主催・協賛行事等での飛騨牛贈呈事業	件	目標値				3	3
				実績値		4			
算出根拠等					達成率(%)				
補 足			目標値						
			実績値						
			算出根拠等		達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	割引券使用地域等にバラつきがみられた。 地域飼料確保緊急対策事業に関して、畜産農家の負担が大きかった。
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	今年度の配布地域・配布方法を工夫することで、効果的な施策となるように対応。 地域飼料確保緊急対策事業に関して、畜産農家の負担が大きかった。														
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">○ 維持・改善</td> <td>拡大</td> <td rowspan="2">震災対策に限らず継続的なPR活動を行い、飛騨牛ブランドの向上・消費拡大を目指す。</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">二次評価</td> <td>廃止検討</td> <td rowspan="2">維持・改善</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	○ 維持・改善	拡大	震災対策に限らず継続的なPR活動を行い、飛騨牛ブランドの向上・消費拡大を目指す。	縮小	二次評価	廃止検討	維持・改善	拡大		縮小			廃止検討	
○ 維持・改善	拡大		震災対策に限らず継続的なPR活動を行い、飛騨牛ブランドの向上・消費拡大を目指す。												
	縮小														
二次評価	廃止検討	維持・改善													
	拡大														
	縮小														
	廃止検討														

## コスト面

コスト 指 標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	16,889	12,250	13,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)		63,492	45,370	52,419
	受益者	0	(B)	0	266	270

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・地域産飼料の促進による地域産ブランドの維持、飼料自給率の向上	要求のポイント	・地域産稲わら、WCS、飼料用米に対する助成(飛騨牛震災対策事業から移行)	事業実施の課題	・地域飼料確保緊急対策事業に関して、畜産農家の負担が大きい。 ・特典券使用地域を広げる。
------	---------------------------------	---------	---------------------------------------	---------	---

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	12,250	13,000	750	1,000	1,000	・飛騨牛の販売拡大に要する経費を計上 ・稲わら助成は、セシウム汚染等の不安が払拭されたことや農家連携が図れていることから緊急対策を終了する	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金							
その他							
一般財源	12,250	13,000	750	1,000	1,000		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	52215	後継者等肉用牛貸付事業	予 算	会計	1	一般会計	総合計 画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをまぎして	根拠計画		市長公約 3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・肉用牛飼育頭数4千頭を目指します
	審議			款	5	農林水産業費		分野	4	畜産業	実施計画事業	後継者等肉用牛貸付事業	
担当課		内線	2239	項	2	畜産業費		基本施策	1	安定した畜産経営を整備する	H25実施計画額	31,000 千円	
	農政部 畜産課			目	2	畜産振興費		施策	3	新たな担い手の確保			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	肉用牛繁殖農家	どうしたいのか(意図)	飛騨牛繁殖基盤の確保並びに拡大を行い畜産基盤の経営安定を図る。	概要	事業の実手法(手段)	肉用牛繁殖雌牛の5年間無償貸付
	対象者数	200 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	貸付頭数	75頭						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	成果指標	肉用牛飼育頭数	頭	目標値	3,600	3,700	3,800	3,900
				実績値	3,509	3,441		
	活動指標	算出根拠等	毎年度2月1日現在飼養頭羽数調査	達成率(%)	97	93		
				目標値	75	75	75	75
	活動指標	貸付実施頭数	頭	実績値	43	75		
				達成率(%)	57	100		
	成果面	算出根拠等		目標値				
				実績値				
	成果面	算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
	成果面	算出根拠等		実績値				
達成率(%)								
成果面	算出根拠等		目標値					
			実績値					
成果面	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
成果面	算出根拠等		実績値					
			達成率(%)					
補足								

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	無利子での肉用牛導入費用の貸付だが、一括返済を不安に思う農家が多い。分割での返済を受け付ける方策はないか。高齢化や後継者不足で、畜産農家が毎年減少している。国の補助金が廃止になり、県の補助金と市の積立で基金を造成し対応している。
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	繁殖農家の経営にとって有効な事業なので内容等の見直しを視野に入れながら続ける。	
次年度の実施方針	○維持・改善	繁殖農家の経営にとって有効な事業なので内容等の見直しを視野に入れながら続ける。国の事業廃止による国庫補助分を返還したので、県と相談しながら実施方法について見直しを行う。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	・畜産農家のニーズを踏まえ、増頭目標達成のための効果的な運用を図っていく必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	24,376	38,956	31,000	31,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	116,076	194,780	155,000	149,758
	受益者	肉用牛繁殖農家	(B)	210	200	200

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	肉用牛繁殖雌牛を買上げ、5年間無償貸付する ・肉用牛繁殖雌牛後継者等貸付 ・肉用牛繁殖雌牛高齢者貸付	要求のポイント	飛騨牛繁殖基盤の確保並びに拡大を行い畜産基盤の経営安定を図る。	事業実施の課題	・畜産農家のニーズを踏まえ、増頭目標達成のための効果的な運用を図っていく必要がある。
------	--	---------	---------------------------------	---------	--

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	31,000	31,000		31,000	31,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金							
その他	31,000	31,000		31,000	31,000		
一般財源							

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	52220	家畜防疫衛生事業	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをまぎして	根拠計画		市長公約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。畜産業の安定化を実現します。産業としての畜産業を守るため、家畜診療の充実はもとより、管理アドバイザー、非常時対策にも対応できる行政の体制強化に取り組みます。
	種別			5	農林水産業費		分野	4	畜産業	実施計画事業	家畜防疫衛生事業		
担当課		農政部 畜産課	内線	2239	項目	2	畜産業費	基本施策	1	安定した畜産経営を整備する	H25実施計画額	千円	
			目	2	畜産振興費	施策	2	安全で安心な畜産物の供給					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	畜産農家(肉用牛・乳用牛・豚・鶏)	どうしたいのか(意図)	家畜伝染病の発生予防に努め、低コストで高品質な畜産物の安全安心な生産・供給による畜産経営の向上を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝染病調査及び発生予防</li> <li>法定家畜伝染病予防接種補助</li> <li>家畜伝染病予防消毒事業補助</li> </ul>
	対象者数	266 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝染病浸潤状況の調査</li> <li>法定家畜伝染病(鶏ニューカッスル病)予防接種補助</li> <li>家畜伝染病対策マニュアルの作成及び周知</li> </ul>						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	法定家畜伝染病予防接種(鶏ニューカッスル病)	羽	目標値	150,000	153,000	153,000	150,000
	実績値		150,658	151,580			
	算出根拠等	5円/羽×50%	達成率(%)	100	99		
活動指標	県外導入豚特定疾病検査(オーエスキー病)	頭	目標値	130	130	130	130
	実績値		2	2			
	算出根拠等		達成率(%)	2	2		
活動指標	届出伝染病(牛白血病)抗体検査	頭	目標値	2,400	2,400	2,400	2,400
	実績値		2,328	1,598			
	算出根拠等		達成率(%)	97	67		
成果指標	法定伝染病発生数	件	目標値	0	0	0	0
	実績値		0	0			
	算出根拠等		達成率(%)				
成果指標	肉用牛頭数	頭	目標値	4,000	4,000	4,000	4,000
	実績値		3,441	3,439			
	算出根拠等		達成率(%)	86	86		
成果指標			目標値				
	実績値						
	算出根拠等		達成率(%)				
補足							

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>自衛防疫と市全体での防疫措置とを明確にしコスト削減を図りながら、効果的な防疫事業を行う必要がある。</li> <li>緊急時の防疫対策の備蓄等を検討する必要性あり。</li> </ul>
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝染病予防にかかる生産者への普及啓発及び自衛防疫の徹底</li> <li>届出伝染病(牛白血病)抗体検査の浸潤状況に基づき、陽性牛の淘汰等の指導措置を講じる</li> </ul>	
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も引き続き、予防接種の推進や伝染病の浸潤調査を実施し、防疫措置を講じていく。</li> </ul>
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>家畜診療業務については、民間委託も視野に入れるとともに、一層の防疫体制の強化を図る必要がある。</li> <li>平成24年度に策定した「家畜伝染病防疫対策マニュアル」の周知徹底を図り、鳥インフルエンザや口蹄疫、BSEなどの発生への備え、国・県・市・農業団体などの役割分担の明確化、実践的訓練の実施など、実効性ある取り組みを進めていく必要がある。</li> </ul>
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	2,288	1,392	1,408	2,866
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	8,474	5,233	5,215	11,556
	受益者	畜産農家数	(B)	270	266	270

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	①家畜伝染病浸潤状況調査 ②法定伝染病予防補助(ニューカッスル病) ③県外導入豚検査(オーエスキー病) ④消毒薬及び消毒機器 等の助成や整備により防疫対策を図る	要求のポイント	家畜伝染病の発生予防を目的とし、家畜の伝染病浸潤状況調査、消毒薬・消毒機器等の整備による防疫対策及び予防ワクチンの助成による自衛防疫の推進	事業実施の課題	生産者への防疫意識の向上と、通常の自衛防疫対策を推進し、防疫対策マニュアルの周知徹底と見直し等による改訂の必要性を検討 不測の事態を想定した備蓄のあり方
------	---	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,408	2,866	1,458	1,408	1,408	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金							
その他	1,408	2,866	1,458	1,408	1,408		
一般財源							

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	52225	家畜人工授精事業費	予 算	会計	1	一般会計	総合計 計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをまぎして	根拠計画	市長公約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・肉用牛飼育頭数4千頭を目指します
	款			5	農林水産業費	分野		4	畜産業	実施計画事業			
担当課	農政部 畜産課	内線 2239	項	2	畜産業費	基本施策	1	安定した畜産経営を整備する	H25実施計画額		24,000	千円	
			目	2	畜産振興費		施策	1		競争力のある生産基盤の整備			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	・畜産農家(肉用牛・酪農家)	どうしたい のか (意図)	・優良子牛の生産、増頭により改良増殖を推進し、農家の経営安定を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家畜改良、増殖の推進を図る。</li> <li>・和牛、乳牛の家畜人工授精。</li> <li>・和牛、乳牛の受精卵移植・採卵</li> </ul>
	対象者数	247 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		人工授精 2,922 件 受精卵移植 65 件 採卵 37件						
成果 指 標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	肉用牛飼育頭数		頭	目標値	3,600	3,700	3,800	3,900
	実績値			3,509	3,441			
	算出根拠等		2/1 現在飼養頭羽数調査	達成率(%)	97	93		
	家畜人工授精		件	目標値				3,000
	実績値			3,026	2,922			
	算出根拠等			達成率(%)				
	家畜受精卵移植		件	目標値				100
	実績値			96	65			
	算出根拠等			達成率(%)				
	採卵		件	目標値				50
	実績値			37	37			
算出根拠等			達成率(%)					
補足		市での人工授精件数等は微減傾向にあるが、大規模農家等では個人で対応されるため、総数は横ばいであろうと考えられる。						

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	生産者の収入増と「飛騨牛」ブランドの更なる躍進のために今後も続けていく必要がある。
---------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況		人員削減によって1人当たりの業務の負担が多くなったため更に委託をする必要がある。委託料の削減については、実際に人工授精を実施した件数以外に、出勤しても牛の状態が悪いなどで授精できない場合や、受胎率を向上させ農家の負担を減らせるように授精適期の把握に数回通うことも数多くあり、その部分のコスト削減(燃料など)や努力も考慮しなければならない。	
次 年 度 の 実 施 方 針	○ 維持・改善	拡大	人員削減によって1人当たりの業務の負担が多くなったため更に委託をする必要がある。委託料の削減については、実際に人工授精を実施した件数以外に、出勤しても牛の状態が悪いなどで授精できない場合や、受胎率を向上させ農家の負担を減らせるように授精適期の把握に数回通うことも数多くあり、その部分のコスト削減(燃料など)や努力も考慮しなければならない。
		縮小	
	廃止検討		
	○ 維持・改善	拡大	
		縮小	
		廃止検討	

## コスト面

コスト 指 標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	22,815	22,581	24,630	25,691
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	92,744	91,421	99,717	103,593
	受益者	畜産農家	(B)	246	247	247	248

## 5 予算編成(Action2)

事業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優良牛の増産・増頭のための農家支援、最新技術の導入による生産者の収益向上対策</li> <li>・人工授精業務委託</li> </ul>	要求 の ポ イ ン ト	事業 実 施 の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受精卵移植の最新技術の導入・取得</li> <li>・優良雌牛の増頭指導</li> </ul>
--------------	--	-----------------------------	-----------------------------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		24,630	25,691	1,061	24,760	24,760	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金							
	県支出金							
	その他	9,415	7,225	△ 2,190	9,415	9,415		
	一般財源	15,215	18,466	3,251	15,345	15,345		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	52227	繁殖牛舎建設支援事業	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをまぎして	根拠計画		市長公約	
	課			5	農林水産業費		分野	4	畜産業	実施計画事業	繁殖牛舎建設支援事業		
担当課		農政部 畜産課	内線	2	畜産業費	基本施策	1	安定した畜産経営を整備する	H25実施計画額		15,000 千円	3	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・肉用牛飼育頭数4千頭を目指します
				2239	2		畜産振興費	3		畜産関連施設の整備			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	畜産農家(肉用牛)	どうしたいのか(意図)	肉用繁殖雌牛飼育頭数4,000頭を目指すため、飛騨牛畜産率の向上と飛騨牛ブランドの拡大を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	牛舎建設を行う生産農家、新規就農者、農事組合法人又は農業生産法人に対し補助する。
	対象者数	200 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	牛舎建設補助 1棟 牛舎建設に伴う増頭10頭						
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				目標値	3,600	3,700	3,800
活動指標	繁殖牛舎建設実績	棟	目標値		3	3	2
				実績値		1	
成果面	算出根拠等		達成率(%)	97	93		
				目標値			
補足	算出根拠等		達成率(%)				
				実績値			
	算出根拠等		達成率(%)				
				実績値			
	算出根拠等		達成率(%)				
				実績値			
	算出根拠等		達成率(%)				
				実績値			
牛舎建設を行うためには、農業振興用地からの転用の手続きや建築確認申請等を伴い、農地転用の手続きは年に1回であるため、農家が建設を計画してから補助執行までには少なくとも半年～2年程度を要する。そのため初年度は実績が少なくなっている。							

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	制度の周知を図り、利用促進を行う必要がある。 また、計画段階で農地転用、建築確認等の手続きを確実にを行うよう指導する必要がある。
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	計画段階で農地転用、建築確認等の手続きを確実にを行うよう指導している。申請は農地転用等が完了した秋以降となるが予算額どおりの3件が申請される見込み。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	積極的に事業のPRを行い、建設を促す。23年度新規事業のため、昨年度及び今年度の状況により事業運営の細部の改善を図りつつ継続実施。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・畜産農家のニーズを踏まえ、増頭目標達成のための効果的な運用を図っていく必要がある。

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	5,000	15,000	30,000
受益者	受益者1件当たり(円)	(A/B)		5,000,000	5,000,000	4,285,714
	畜産農家	(B)	0	1	3	7

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	繁殖牛舎等の建設を行う生産農家、新規就農者、農事組合法人又は農業生産法人に対する助成	要求のポイント	肉用繁殖雌牛飼育頭数4,000頭の目標達成のため、基盤となる牛舎建設等を推進	事業実施の課題	・建設地の転用手続きや建築確認等の制度を建設希望者へ周知 ・新規就農者への制度のPR等の事業の積極的なPR方法の検討 ・制度利用の簡素化、合理化等の細部の事業内容の改善、見直し
------	--	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	15,000	30,000	15,000	15,000	15,000	・増頭対策として牛舎建設に併せた堆肥舎の建設に対する助成制度を新設	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金							
一般財源	15,000	30,000	15,000	15,000	15,000		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	52230	家畜改良推進事業費	予 算	会計	1	一般会計	総 合 計 画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをまぎして	根拠計画		市長 公 約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・安定した畜産業を実現するため、飛騨牛を代表とする各種畜産物の全国ブランド化や、アジアを主体とした海外販路の確立を、具体的に進めます。
				款	5	農林水産業費		分野	4	畜産業	実施計画事業	家畜改良推進事業費		
担当課		内線	2239	項	2	畜産業費	基本施策	1	安定した畜産経営を整備する	H25実施計画額	650 千円			
	農政部 畜産課			目	2	畜産振興費	施策	2	安全で安心な畜産物の供給					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	畜産農家(肉用牛・乳用牛・豚・鶏)	どうしたいのか(意図)	家畜の改良度や改良の方向性の確認のため各種共進会を開催することにより、畜産物のブランド化及び、農家の意欲向上による増産を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	各種品評会の開催
	対象者数	266 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	市共進会経費等家畜改良事業 全国和牛能力共進会負担金(飛騨畜産振興会負担金)						
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	肉用牛飼育頭数	頭	目標値	3,600	3,700	3,800	3,900
算出根拠等			実績値	3,509	3,441		
			達成率(%)	97	93		
成果面			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
算出根拠等			実績値				
			達成率(%)				
算出根拠等			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
算出根拠等			実績値				
			達成率(%)				
補足							

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	畜産を取り巻く情勢的確な把握及び農業者への情報提供・指導
-----------------	------------------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	全国和牛能力共進会に向け「心ひとつ」「トップ獲得」のため一丸となり取り組む。畜産情勢を注視しながら事業を継続して実施する。	
次年度の 実施方針	○維持・改善	県・他市村・JA等関係団体と連携を密に畜産情勢を的確に把握したうえで農業者への情報提供・指導を行う。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	・全国的なブランド牛としての地位を確立するため、各種品評会の機会を捉え、市内外への積極的なPR・情報発信を図る必要がある。 ・今年開催の第10回全国和牛能力共進会長崎県大会における市の支援体制を総括し、検証する必要がある。
	拡大	
	縮小	
廃止検討		

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	541	2,070	4,670	889
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,960	7,782	17,296	3,585
	受益者	畜産農家	(B)	276	266	270

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	家畜の改良度や改良の方向性の確認のため各種共進会を開催することにより、特産物のブランド化及び農家の意欲向上による増産を図る。	要求のポイント	第10回全国和牛能力共進会関係経費の減	事業実施の課題	品評会・共進会等の開催によりレベルアップを図る。
------	--	---------	---------------------	---------	--------------------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	4,670	889	△ 3,781	630	630	・積算内容を精査 ・財務部査定のとおり	
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金							
その他	424	889	465	424	424		
一般財源	4,246	0	△ 4,246	206	206		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	52235	牧場放牧事業費	会計	1	一般会計	政策	4	「にぎわい」のあるまちをまぎして	根拠計画		市長公約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・飼料自給率の向上、新規就農者の確保育成など総合的な畜産産業振興策に取り組みます
	種別			5	農林水産業費		4	畜産業				
担当課	農政部 畜産課		予算	内線		基本施策	1	安定した畜産経営を整備する	実施計画事業	牧場放牧事業費		
				2239	2		畜産振興費	1		競争力のある生産基盤の整備	H25実施計画額	18,200 千円

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	畜産農家(肉用牛飼養農家)	どうしたいのか(意図)	・夏山冬里方式の飼養管理として放牧推進を図り、他農業との複合経営の確立、飛騨牛の低コスト生産及び増産を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・放牧場の整備、充実を図るとともに、適正な牧場利用調整、推進を行う
	対象者数	200 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	利用農家69戸 放牧延べ頭数60,385頭						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				目標値	72,000	72,000	72,000
算出根拠等	放牧延べ頭数	頭	実績値	67,105	60,385		
			達成率(%)	93	84		
算出根拠等			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
算出根拠等			実績値				
			達成率(%)				
算出根拠等			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
算出根拠等			実績値				
			達成率(%)				
算出根拠等			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				

補足 23年度は気象条件により入牧期間が短縮しており、放牧実績が減となっている。

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	放牧場施設及び草地の老朽化が目立っており、順次整備していく事により、放牧利用が推進され繁殖牛の増頭及び安定した子牛生産が見込まれ飛騨牛ブランドの躍進が期待される。
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	牧場施設・草地の維持管理	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	牧場における家畜伝染病防疫体制の強化
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・指定管理者制度の導入に向け検討していく必要がある。

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	18,247	9,058	19,600	28,703
受益者	受益者1件当たり(円)	(A/B)	272	142	272	399
	牧場利用農家農家(述べ放牧数)	(B)	67,105	63,942	72,000	72,000

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	要求のポイント	事業実施の課題
・牧場の維持・管理 ・放牧牛の健康管理及び防疫体制の強化 ・放牧施設の修繕及び草地の維持管理	・放牧場内(給塩施設)の老朽化による工事及び修繕の増 ・家畜伝染病対策等の防疫措置の向上	・防疫衛生対策として、家畜伝染病の抗体保因牛と陰性牛を隔離するため、入牧制限が必要となり、使用料に影響する可能性がある。 ・牧場草地の老朽化等により、放牧期間の短縮が懸念され、土壌診断等により土地改良が必要である。

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	19,600	28,703	9,103	19,770	19,770	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金							
その他	10,800	10,018	△782	10,800	10,800		
一般財源	8,800	18,685	9,885	8,970	8,970		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	52245	優良飛騨牛固定推進事業	予 算	会計	1	一般会計	総合計 画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをまぎして	根拠計画	市長公約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・安定した畜産業を実現するため、飛騨牛を代表とする各種畜産物の全国ブランド化や、アジアを主体とした海外販路の確立を、具体的に進めます。
	種別			款	5	農林水産業費		分野	4	畜産業			
担当課	農政部 畜産課		内線	2239	項	2	畜産業費	基本施策	1	安定した畜産経営を整備する	H25実施計画額	千円	
				目	2	畜産振興費	施策	1	競争力のある生産基盤の整備				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	畜産農家(肉用牛繁殖・酪農)	どうしたいのか(意図)	・遺伝的に良質な牛肉を生産する能力の高い繁殖牛を保留または導入する。 ・優良な乳用牛の保留または導入による酪農経営の強化。	概要	事業の実手法(手段)	優良飛騨牛、優良乳用牛増頭に対する補助。(優良雌牛保留対策234千円×150頭、優良飛騨牛増頭推進100千円×50頭、優良乳用牛保留・導入対策35千円×30頭)
	対象者数	213 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	優良雌牛保留対策234千円以内×107頭、 優良飛騨牛増頭推進100千円×50頭、 優良乳用牛保留・導入対策35千円×30頭							
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	肉用牛繁殖雌牛・乳用牛雌牛飼養頭数		頭	目標値	4,930	4,900	4,900	4,900
	算出根拠等	毎年度2月1日現在飼養頭羽数調査		実績値	4,852	4,734		
活動指標	指標名		単位	目標値	230	230	230	230
	優良雌牛保留・導入頭数		頭	実績値	166	187		
	算出根拠等			達成率(%)	98	97		
成果面	指標名			目標値				
	算出根拠等			実績値				
	指標名			目標値				
	算出根拠等			実績値				
	指標名			目標値				
	算出根拠等			実績値				
補足	指標名			目標値				
	算出根拠等			実績値				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	条件に当てはまる特別優秀な雌子牛を掘り起こし、さらなる保留・導入の推進を図る。 高齢化や後継者不足で、畜産農家が毎年減少している。
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	優良乳用牛の事業については、平成23年度から見直した内容で取り組んでおり、引き続き実施する。 条件に当てはまる特別優秀な雌子牛を掘り起こし、さらなる保留・導入の推進を図る。 飼料高騰・景気低迷による畜産経営継続意欲の減退により高齢者及び小規模繁殖経営農家の廃業が進んでいる。 各事業共に優良雌牛の更新・増頭により、飛騨牛生産繁殖雌牛及び乳用牛の経営基盤を強化し、畜産の経営安定を図る。
次年度の実施方針	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 (担当課評価に同じ)

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	28,842	30,943	41,170	41,170	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	129,336	145,272	193,286	193,286	
	受益者	肉用牛繁殖農家・酪農家	(B)	223	213	213	213

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	高育種優良雌牛より生産された優良雌子牛を保留又は導入する経費に対する助成 乳用牛経営基盤の強化のため優良な乳用牛を保留導入する経費に対する助成	要求のポイント	事業実施の課題	優良な肉用牛・乳用牛の導入保留
------	--	---------	---------	-----------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	41,170	41,170		41,170	41,170	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金							
その他	17,550	17,550		17,550	17,550		
一般財源	23,620	23,620		23,620	23,620		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	52247	飛騨牛生産経営安定推進事業補助金	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをまぎして	視観計画		市長公約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・肉用牛飼育頭数4千頭を目指します
	種別			款	5		農林水産業費	分野	4	畜産業	実施計画事業		
担当課	農政部 畜産課		予算	内線	2239	目	基本施策	1	安定した畜産経営を整備する	H25実施計画額	1,000 千円		
				項	2		畜産業費	施策	1	競争力のある生産基盤の整備			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	肉用牛繁殖農家	どうしたいのか(意図)	子牛生産における事故は繁殖経営に大きな打撃を与えるため通常、飛騨農業共済事務組合が取り扱う家畜共済に加入するが、共済対象外の事故も発生し大きな打撃になることから、そういった事故に備えるように組合員相互で互助制度を行うための基金を造成するので、その基金造成に対し一部を助成する。	概要	事業の実施手法(手段)	高山市和牛改良組合が実施する家畜共済対象外の流死産等の事故(早期の流死産等)に対する互助のための基金造成に対して一部助成する。
	対象者数	200 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	互助事業加入頭数 3,357頭							
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	肉用牛繁殖雌牛飼育頭数		頭	目標値	3,600	3,700	3,800	3,900
活動指標	算出根拠等			実績値	3,509	3,439		
	毎年度2月1日現在飼養頭数調査			達成率(%)	97	93		
成果面	互助事業加入頭数		頭	目標値	3,510	3,410	3,360	3,600
	算出根拠等			実績値	3,406	3,357		
補足				達成率(%)	97	98		
	算出根拠等			目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績値				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	高齢化や後継者不足で、畜産農家が毎年減少している。
-----------------	---------------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	従前どおり継続実施	
次年度の実施方針	○維持・改善	従前どおり継続実施
	拡大 縮小 廃止検討	
○維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大 縮小 廃止検討		

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	579	608	900	900	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,757	3,040		4,348	
	受益者	肉用牛繁殖農家	(B)	210	200	0	207

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	飛騨牛生産にかかる流死産の互助を実施し、繁殖経営の安定と意欲的な飛騨牛の改良増殖を図るための飛騨牛生産事故見舞金造成に要する経費	要求のポイント	組合員相互の連携強化と意欲的な「飛騨牛」改良生産強化	事業実施の課題	組合員相互の連携強化と意欲的な「飛騨牛」改良生産強化を図る。
------	--	---------	----------------------------	---------	--------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		900	900		900	900	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	その他							
	一般財源	900	900		900	900		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	52250	飛騨食肉センター運営整備事業費	予 算	会計	1	一般会計	総 合 計 画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをまぎして	視 視 計 画	市 長 公 約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・安定した畜産業を実現するため、飛騨牛を代表とする各種畜産物の全国ブランド化や、アジアを主体とした海外販路の確立を、具体的に進めます。
種別				款	5	農林水産業費		分野	4	畜産業	実 施 計 画 事 業		
担当課		農政部 畜産課	内 線	項	2	畜産業費	基本 施 策	1	安定した畜産経営を整備する	H25 実 施 計 画 額	千 円		
			2239	目	2	畜産振興費	施 策	3	畜産関連施設の整備				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	畜産農家(肉用牛・豚・鶏)	どうしたいのか (意図)	畜産の振興及び安全・安心な食肉の安定供給	概要	事業の実施 手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頭部焼却に係る経費の一部助成(BSE対策)</li> <li>・食肉センター建設に係る地元負担金(債務負担)</li> <li>・豚と畜ライン停止による近隣と畜場への輸送費等の助成</li> <li>・と畜部門運営経費の一部助成</li> </ul>
	対象者数	266 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頭部焼却に係る経費の一部助成(BSE対策)</li> <li>・食肉センター建設に係る地元負担金(債務負担)</li> <li>・豚と畜ライン停止による近隣と場への輸送費等の助成</li> <li>・と畜部門運営経費の一部助成</li> </ul>						
成果指標	肥育牛	頭	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	算出根拠等		目標値	6,500	6,500	6,500	6,500
成果指標	肉豚出荷頭数	頭	実績値	6,222	6,218		
	算出根拠等		達成率(%)	96	96		
成果面			目標値				
	算出根拠等		実績値	5,778	6,669		
成果面			目標値				
	算出根拠等		実績値				
補足			目標値				
	算出根拠等		実績値				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	食肉センターに対し、高レベルの食肉衛生対策を維持していただくとともに運営の効率化やコスト削減を求めている必要がある。
---------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	各種助成事業の継続実施 食肉センター運営委員会への出席	
次年度の 実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	各種助成事業の継続実施 食肉センター運営委員会への出席
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・センターの経営改善を促していく必要がある。

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	65,885	66,531	68,145	69,025
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	238,714	250,117	252,389	278,327
	受益者 畜産農家	(B)	276	266	270	248

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食肉センター建設事業(債務負担)に対する助成</li> <li>・運営費に対する助成</li> <li>・肉豚出荷に対する助成</li> <li>・頭部焼却に対する助成</li> </ul>	要求の ポイント	事業 実施 の 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食肉の安全安心な供給施設としての維持管理をしつつ、運営の効率化とコスト削減等の推進</li> </ul>
------	---	-------------	---------------------	--

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	68,145	69,025	880	68,265	68,265	・精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金							
一般財源	68,145	69,025	880	68,265	68,265		